

## 第8回 意見シート

資料9

|  |         |
|--|---------|
| ■次第(1)子どもの権利条例素案についてへのご意見<br>■次第(2)その他 富田林市の前文(市や大人の決意)へのご意見                 | 事務局(回答) |
| <p>多数のご意見をいただきましたので、「資料3_富田林市子どもの権利条例素案に関する意見一覧と対応について」に内容と対応方針を記載しています。</p> |         |

|  |   |
|--|---|
| ■その他、ご意見ご要望ご感想などお聞かせください   | 事務局(回答)   |
| <p>第8条「仕事と子育てを両立できる環境」とは、朝7時から子どもを預かるとか延長保育が可能とか、子ども食堂が朝ごはんを提供するとか、そんなことではなくて、仕事をしていても子どもと過ごす時間を余裕をもって確保できる働き方だと思うのですが、現状そんな余裕のある世帯は少ない。子育てがしんどい、辛いと思っている親は親の精神安定のためにどんどん制度を利用したら良いと思いますが、両立のために朝から晩までどこかの居場所にいなければならない子どもは、居場所があつて嬉しいと感じるのかな、と疑問です。居場所があれば良いという話ではないと思う。(家庭が嫌なこどもは別として)。働き方改革がもっと進まないと結局大人の都合にこどもは振り回されている。(これは市ではなく国レベルの話ですね…)</p> <p>こどもたちが作成した前文(子どもの思い)を大人側がきちんと受け止めたと証明するために、予算がわかりやすく子どもに明示されたら大人の本気度が伝わるのかなと思いました。数字としてわかりやすく反映されることで、言ってもどうせ聞いてもらえない、という諦め感から一步踏み出させてあげたい。</p> <p>見当違いなことを書いているかもしれません、一保護者として日々思う感想です。</p> | <p>ご意見いただき、ありがとうございます。<br/>保護者が子どもといつしょに過ごせる時間が増えることは、とても大切なことです。令和6年度に小学校高学年を対象に実施したアンケート調査においても、家庭への要望で「親にもっと家にいてほしい」と回答した子どもは16.2%でした。<br/>また、実際に自分の意見が反映されたという実感をこどもたちがもつことも重要と考えています。<br/>ご意見は、今後実施することも施策の参考にさせていただきます。</p> |